

地球の恵みを育む取り組み ～資生堂の環境経営～

■資生堂の環境への取り組み

資生堂の商品は、すべて「地球の恵み」からできています。「地球の恵み（生物多様性）」を将来にわたって活用していくために、それを保全していくことは非常に重要な課題です。資生堂では保全の大切さの理解を深める場として、国内外で社員が地域の人々とともに、植林・保全活動などに取り組んでいます。

■社名の由来と地球環境への思い

資生堂の社名は、中国の四書五経の一つである易経の一節「至哉坤元万物資生（いたれるかなこんげんばんぶつとりてしようず）」に由来しています。この意味は「大地の徳はなんとすばらしいものであろうか、すべてのものはここから生まれる」。この一節が表すように、資生堂は地球の自然環境を尊重し、大切にすることを拠り所としてきました。

大地の徳に感謝し、そこから新しい価値を発見し、社会の役に立っていくこと、それが地球から恵みを受けている資生堂の使命です。今後、資生堂が永続的にお客さまを美しくしてさしあげるためには、地球への

恩返しをしながら共生していくことが何よりも大切と考えています。

■資生堂アースケアプロジェクト

資生堂グループでは、人も地球も美しく共生する持続可能な社会の実現に向け、全社員が全世界で取り組む環境プロジェクト「資生堂アースケアプロジェクト」を推進しています。とりわけ商品の環境対応については、原料の調達から生産、物流、お客さまによる使用、廃棄まで、ライフサイクル全体での環境負荷低減に取り組んでいます。単に、CO₂排出量を削減したり、資源を節約したりするだけでなく、環境に配慮しながら、お客さまに新たな美しさを提案できるような価値創造につなげることをめざしています。

■サトウキビ由来

ポリエチレンの採用

2011年9月、資生堂は、国内の化粧品・日用品としては初めてサトウキビ由来ポリエチレン容器をヘアケアブランド「スーパーマイルド」に採用しました。サトウキビ由来ポリエチレンを焼却する時に発生するCO₂は、サトウキビが生長過程で



TSUBAKI

スーパーマイルド



長崎県五島列島 榎の植林・保全活動

吸収してきたCO₂であり、CO₂の増減は±0（ゼロ）といえることなどから、サトウキビ由来ポリエチレンは石油由来ポリエチレンと比較すると、ライフサイクル全体におけるCO₂排出量が約7割強少ないといわれています。また、サトウキビ由来ポリエチレンは、主にサトウキビから砂糖を精製した残液部から作られるため、食糧との競合が発生しにくいメリットもあります。今では、このサトウキビ由来ポリエチレンは、TSUBAKIやエリクシールのレフィル容器など、幅広いアイテムに採用されていますが、これも、石油

資源を節約し、持続可能な資源利用を促進するための取り組みです。

■サステナブルな資源利用に向けたシンボリックな取り組み

資生堂には、地球の恵みをサステナブルに利用していくために行っている、シンボリックな取り組みがあります。それは、長崎県五島列島の榎の植林・保全活動。

ヘアケアブランド「TSUBAKI」に配合されている厳選椿オイルは、五島列島で採取したものを使用しています。その椿を保全するため、2011年から、五島列島にて社員ボランティアによる植林・保全活動をスタートさせました。社員とその家族が、年1回商品の原料である椿の周辺の下草刈り・ツル刈りと椿の苗木の植樹を実施しており、これまでに約350本の椿を植えました。今後この活動を通じて、地球の恵みを守り育てることの大切さを学ぶとともに、事業活動と一体となった環境活動を継続していきます。

■植物原料の自社生産へのチャレンジ

2012年12月には、掛川工場内



植物栽培実験施設(内部)

(静岡県掛川市)に「植物栽培実験施設」と「実験農場」を設置しました。「植物栽培実験施設」とは小型の植物工場で、温度、灌水、照明強度などの栽培条件をコントロールすることにより、原料植物を効率的に栽培することができ、原料植物を自社で栽培することで、生産者の顔が見える「安心・安全な植物原料の調達を目指しています。この取り組みはまだ緒のいたばかりですが、地球の恵みを育む取り組みは、こんな形でも進められています。

■本社ビル屋上の「資生の庭」

東京都中央区銀座7丁目位置する本社ビル。ここは資生堂の創業の

地でもあります。昨年10月にこの本社ビルの建て替えが完了し、屋上には「資生の庭」と名づけられた小さな庭園を設置しました。ここには、椿の木をはじめ、ハーブ類など化粧品原料となる植物を植え、環境教育の場にしていきます。屋上の緑化にあたっては、銀座地域における鳥や昆虫の生きもの調査も行いました。この「資生の庭」が、日比谷公園や浜離宮を行き交う鳥や虫たちの憩いの場所となり、多様な生きものが共生する一助になるように、そんな願いが込められています。



資生の庭